

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式						
EU41E101		教育実践基礎研究 (Fundamental Study of Educational Practice)					省察科目		対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
選択必修		2	1	教育学研究科	前期	火3	日本語			複数(共同)					
担当教員	氏名 佐藤晋治, 内田昭利, 柴田康弘, 藤村晃成, 高橋徹弥, 後藤竜太, 長谷部英樹														
	E-mail ssato@oita-u.ac.jp (特別支援教育), a-uchida@oita-u.ac.jp (授業開発・学級経営) 内線 7531(特別支援教育: 佐藤), 6135(授業開発・学級経営: 内田)														
	授業の概要 本授業においては、自らが学校実践基礎研究、特別支援学校実践基礎研究を通して得た経験などを理論的に省察し、「教育実践研究」の課題(自己の研究課題)へとつなげることを目指す。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1 それぞれの学校等における基礎研究を通して得た経験などを理論的に省察することができる								○							
目標2 「教育実践研究Ⅰ」の課題(自己の研究課題)へとつなげることができる							○	○							
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
							各DPへの関連度 (計10)		2	8					
授業の内容															
1 【実習前】															
2 ・関心の所在の明示化															
3 ・(参与) 観察の視点															
4 ・実習計画書の吟味															
5 【実習中】															
6 ・学校実践基礎研究、特別支援学校実践基礎研究の各校園及び機関ごとの省察															
7 ・学校実践基礎研究、特別支援学校実践基礎研究の各校園及び機関ごとのまとめ															
8 【実習後】															
9 ・学校実践基礎研究、特別支援学校実践基礎研究を通して得た経験の理論的省察															
10 ・報告会															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニング	A:知識の定着・確認		演習・発表・ディスカッション				工夫その他の	LMS (Moodle) の活用							
	B:意見の表現・交換														○
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														○
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		文献の精読(7h), 先行研究調査および資料の収集(12h), 発表資料の作成(16h)												
	事後学修		省察したことを整理する(10h)												
	想定時間合計		45												
教科書		特になし。授業中に指示する。													
参考書		特になし。授業中に指示する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価（受講態度，課題に取り組む姿勢，討論への参加等）		50%	○	○								
	報告会における発表，資料など		50%	○	○								
注意事項													
備考	本科目に引き続き「教育実践課題研究Ⅰ」，「教育実践課題研究Ⅱ」の順で履修すること。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	内田(小・中・盲学校)/柴田(中学校，教育委員会事務局)/高橋(特別支援学校，教育委員会事務局)/後藤(小学校，教育委員会事務局)/他												
実務経験を いかした教育内容	学校現場，教育行政現場，心理臨床の現場での実務経験及び領域専門性を活かして実習前・実習中・実習後の包括的かつ具体的な指導を行う。												